



すゝめ

【特集】

乳腺外科・
ブレストセンター

【注目部門】

漢方医学センター

【新設部門】

周術期センター

【連載企画】

わたしのオススメ

～福永病院長編～

広報誌タイトル「すゝめ」とは

タイトルは明治5年から9年にわたって出版された17編を数える
福澤諭吉の大ベストセラー「学問のすゝめ」に因んでいます。

乳がん診療に、チームで向き合う
—乳腺外科・ブレストセンターの検査・治療・生活支援—

乳がん診療に、チームで向き合う

— 乳腺外科・プレストセンターの検査・治療・生活支援 —



CHECK

**患者さんに優しく
寄り添いながら診療します。**

慶應義塾大学病院乳腺外科は、伝統ある外科診療と新しい医療技術を融合し、乳がんの診断、手術、薬物療法、再建、長期フォローまで一貫して行う診療科です。患者さんに寄り添う温かな医療を大切にしています。

林田 哲 医師

『 Question | 乳腺外科・プレストセンターにはどんな患者さんが通院するの? | 』

女性の乳房に関する疾患を専門的に診療する場所

乳がんが疑われる方、乳がんと診断された方、当院での術後フォロー中の方に加え、良性乳腺疾患、遺伝性乳がん、男性乳がん、若年患者さんの妊孕性温存相談など、幅広い方が通院しています。検診で異常を指摘された方の精査にも対応します。

乳がん治療（手術療法・薬物療法・放射線療法）

乳がん治療は、手術療法・薬物療法・放射線療法を組み合わせる集学的治療です。病期、乳がんのサブタイプ、全身状態、生活背景や希望を踏まえ、多診療科で連携しながら適切な方針を検討します。

手術療法



手術では、がんを確実に取り除く根治性と、術後の見た目に配慮した整容性の両立を目指します。乳房温存術、乳房切除術、乳頭温存・皮膚温存乳房切除術に加え、形成外科と連携した乳房再建にも対応します。病変の部位や乳房の形に応じて切開や術式を工夫し、患者さんの希望に沿って治療を選びます。

薬物療法



薬物療法では、ホルモン受容体やHER2など乳がんの性質に応じて、内分泌療法、化学療法、抗HER2療法、免疫療法、分子標的薬などを選択します。周期から再発・転移乳がんまで、標準治療を軸に、治療効果と副作用、生活への影響を考えながら、一人ひとりの病状に合わせて治療を組み立てます。

放射線療法



放射線療法は、乳房温存術後の再発予防や、病状に応じた局所制御、症状緩和などに用いられます。放射線治療科と連携し、治療効果と副作用のバランスを考えながら、照射範囲や回数を含めて一人ひとりに適した方法を検討します。手術や薬物療法と組み合わせ、治療全体の質を高めます。

プレストセンターによる多診療科連携

プレストセンターの大きな特徴は、乳がん診療を乳腺外科だけで完結させず、**多くの専門家が連携**して支える点にあります。診断の段階では、放射線診断科と協力してマンモグラフィ、超音波、造影MRIなどの画像検査を組み合わせ、病変の性質や広がり詳しく評価します。

手術方針を決める際には、**がんをしっかり**



ヴィッグや術後の下着など
アピアランスケアにも対応

治すことと、乳房の形や生活の質を保つことの両立を目指します。乳房再建を希望される場合は、形成外科と早い段階から相談し、インプラントや自家組織再建などの選択肢を検討します。

薬物療法では、乳がんのサブタイプや再発リスク、治療歴に応じて、内分泌療法、化学療法、抗HER2療法、免疫チェックポイント阻害剤、分子標的薬などを組み合わせます。副作用対策では、薬剤師、看護師、栄養士、リハビリテーションスタッフも関わり、**治療を続けやすい環境づくり**を行います。

また、糖尿病、高血圧、心疾患、膠原病などの持病がある方でも、総合病院の強みを活かして各診療科と連携し、安全に治療を進められるよう支援します。若年患者さんには妊孕性温存や心理的ケア、育児中の方

には治療と生活の両立、高齢の方には体力や生活状況を踏まえた治療選択など、**患者さんご家族の背景**にも目を向けます。

遺伝性乳がんが疑われる場合にはHBOCセンターと連携し、遺伝カウンセリングや検査後の支援につなげます。さらに、診療方針に迷う場合や複数の治療選択肢がある場合には、カンファレンスで専門家の視点を集め、患者さんにとって最も納得しやすい道筋を考えます。治療後も、リンパ浮腫のケアや定期検査を含め、長期にわたり安心して過ごせるよう、**チーム全体で伴走**することを大切にしています。

こうした連携により、医学的に適切であることはもちろん、仕事、家庭、将来の妊娠、介護など、**その方の暮らしに沿った治療と一緒に選ぶ**ことを目指しています。

乳がんの精密検査とは？

乳がんの精密検査では、画像検査と組織検査を組み合わせ、病変が良性か悪性か、悪性の場合はどのような性質をもつかを詳しく調べます。まず、**マンモグラフィ**ではしこりや石灰化の有無を確認します。当院ではトモシンセシスマンモグラフィを用い、乳腺の重なりによる見落としを減らし、小さな腫瘍や微細な石灰化をより詳しく評価します。

超音波検査では、病変の形や特徴、

血流などを観察し、必要に応じて超音波で確認しながら針生検や吸引式組織生検を行います。石灰化だけで見つかる病変では、マンモグラフィで位置を確認しながら行うトモシンセシスガイド下マンモトーム生検が役立ちます。採取した組織は病理診断部で詳しく調べ、がんの種類、ホルモン受容体、HER2、増殖能などを確認します。

さらに、**造影MRI**は、病変の広がり、

多発病変の有無、反対側乳房の確認、手術範囲の検討に有用です。必要に応じてCT、骨シンチグラフィ、PET/CTなどで全身の状態も確認します。こうした検査結果を総合し、**手術、薬物療法、放射線療法**の順序や内容を決めていきます。

精密検査は不安を伴うものですが、何を調べる検査なのか、結果が治療方針にどう関わるのかを丁寧に説明し、患者さんが見通しを持って次の一歩に進めるよう支援します。また、検査で得られた情報は、乳房温存が可能か、薬物療法を先に行うべきか、リンパ節の評価をどう行うかといった具体的な治療計画にも直結します。画像と病理の結果を照らし合わせ、必要に応じて追加検査を行うことで、過不足のない治療につなげます。



遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC) ― 慶應での予防医療

遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)は、主にBRCA1またはBRCA2遺伝子の変化により、乳がんや卵巣がんなどを発症しやすくなる体質です。慶應義塾大学病院では、HBOCセンターを中心に、遺伝カウンセリング、遺伝学的検査、検査後の説明、定期検診、予防的手術の相談まで継続的に支援します。検査結果は、ご本人だけでなくご家族の健康管理にも関わる大切な情報です。そのため、専門スタッフが不安や疑問を伺い、医学的な意味、選択できる予防策、今後の検診計画をわかりやすく説明します。患者さんとご家族が納得して選択できるよう、治療と予防の両面から支えます。乳がん発症後の治療選択だけでなく、

まだがんを発症していない方への予防医療も重要です。リスクに応じた乳房造影MRI検査を含めた検診、卵巣がん対策、リスク低減手術の適応について、多診療科で連携して相談します。

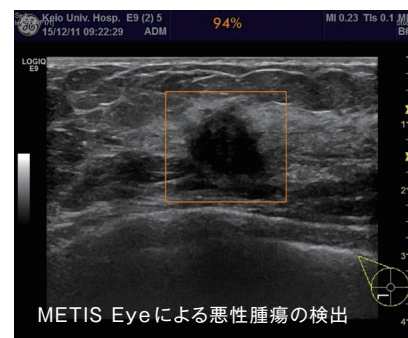


慶應が取り組む、これからの乳がん医療 ―超音波 AI 診断支援の開発と活用―

慶應義塾大学病院乳腺外科では、これまで多くの患者さんの診療に携わってきました。この豊富な経験が、適切な治療を支える土台となっています。また、標準治療を確実に行うことに加え、新しい技術や研究成果を診療に活かす取り組みも進めています。その一つが、乳房超音波検査にAIを組み合わせた診断支援です。超音波検査では、しこりの形や内部の様子を詳しく観察できますが、画像の判断には検査者の経験が影響することがあります。当院乳腺外科の研究チームが開発した超音波画像AI診断支援ソ

フトウェア「METIS Eye」は、多くの乳房超音波画像から学習し、医師の判断を支援することができます。医師が単独で画像を確認する場合と比べ、「METIS Eye」を活用することで、より精度の高い診断が期待され、慶應義塾大学予防医療センターにも導入されています。病変の見落としを防ぐとともに、良性病変に対する不要な精密検査を減らし、判断のばらつきを少なくすることに役立っています。

また、当院はさまざまな臨床研究を通じ、将来の乳がん診療をより良いものにすること



にも力を入れています。患者さん一人ひとりの「治す」と「その人らしく暮らす」を両立するため、診療・研究をつなげた乳がん医療を目指しています。総合病院ならではの専門性と蓄積してきた知見を生かし、新しい医療を取り入れながら、患者さんに無理のない形で届けることを大切にしています。これからも安心して相談できるブレストセンターであり続けることを目指します。詳細は、ブレストセンターウェブサイトをご覧ください。

ブレストセンター ウェブサイト



漢方外来とは？

西洋医学だけでは対応しきれない分野を補いながら、
長い歴史と豊富な経験に裏付けられた治療法を用いて診療を行っています。

漢方外来には毎日、乳児から高齢者まで、年齢や性別を問わずさまざまな症状の患者さんが受診されています。よく「この症状は漢方で良くなるのでしょうか？」というご質問をいただきます。どのような症状でも漢方治療の対象となる可能性があると言っても過言ではありません。大切なのは、「治すべきは症状だけではなく、患者さん自身の体である」という考え方です。現代医学と漢方医学それぞれの長所を組み合わせることで、より良い治療効果が得られることも少なくありません。「こんな症状が漢方で良くなるだろうか」と悩む前に、ぜひ一度ご相談ください。

みんなの疑問をまるッと解決！

Q&A



皆さんの
気になる疑問に
お答えします。

堀場 裕子 医師

西洋・漢方双方の長所を活かして診療します。
以下のQ & A 以外も遠慮なくご相談ください。

Q. 漢方外来を受診するためにはどうしたらいいですか？

すでに当院に通院されている方は、主治医の先生にご相談ください。もちろん、現在通院されていない方でも受診は可能です。他院からの紹介状がない場合は、初診料に加えて別途選定療養費が必要となります。

Q. 漢方治療が向いていない病気はありますか？

次のように、西洋医学による治療が優先される疾患があります。
・がんや腫瘍など手術が必要な疾患・抗がん剤による治療が必要な感染症・緊急処置が必要な疾患（急性腎不全、急性心筋梗塞など）

Q. 漢方薬は苦いと聞きますが、子どもでも飲めますか？

ゼリーなどを使用して飲み方を工夫することで、苦味を感じにくくすることができます。それでも慣れるまで時間がかかる場合があります。漢方薬によっては錠剤などの剤形もありますので、漢方外来でご相談ください。

Q. 漢方薬を飲み始めたら西洋薬は中止したいのですが。

西洋薬を急に中止するのではなく、漢方薬の効果が現れてきた段階で西洋薬を減量・調整できる場合があります。西洋薬を継続するかどうかは自己判断せず、必ず処方している医師と相談してください。

Q. どのような症状の方が多いですか？

様々な症状の患者さんが受診されていますが、特に多いのは胃腸障害、アトピー性皮膚炎、婦人科疾患、高齢者の加齢に伴うさまざまな症状、生活習慣病、冷え症、虚弱体質、疲労・倦怠感などです。

Q. 漢方治療（漢方薬）は保険診療ですか？

漢方薬は1967年から保険適用となっています。ご自身で生薬を煎じる場合でも、当科では保険適用となります（一部生薬を除く）。

Q. 漢方薬には副作用がないので安全だと聞きます。

漢方薬にも西洋薬と同様に、アレルギー症状などの副作用があります。また、漢方薬の約7割に含まれる甘草（かんぞう）という生薬にも注意が必要です。漢方外来では、副作用の有無を確認しながら診療を行っています。

TOPICS

鍼灸・指圧・ストレッチ外来開設

鍼治療は、患者さんの体全体のバランスを整える治療法です。鍼の太さは髪の毛ほどで、多くの場合、痛みは蚊に刺される程度です。複数回継続して施術を行い、必要に応じて指圧やストレッチを組み合わせながら効果を評価していきます。漢方外来にて診療やご予約の相談を行っておりますので、ぜひお気軽にご相談ください。

▶ 初診料 15,000円 再診料 11,000円（2026年8月時点）

施術時間（問診・お着替えを含む）は、約45～60分です。症状や施術内容により所要時間は前後する場合があります。



Center for Perioperative Care(CPOC)

周術期センター



チームで連携し、安全・安心な手術を受けていただくためのセンター開設

2026年6月、2号館1階1Pに周術期センターが開設されました。

周術期センターは、全身麻酔の手術に臨む患者さんのために、多職種チームが連携して手術前・手術中・手術後の全身状態の確認を行い、安全・安心に手術を受け、回復できるよう、ご支援する部門です。

手術を受ける 患者さんにとってのメリット

周術期センター(2号館1階1P)では麻酔科医師・歯科医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・メディカルアシスタント(MA)が連携し、場所を移動せずに、手術に関する説明を受けたり、相談をしたりすることができます。



手術前の検査がワンストップで / 周術期センターでの主な流れ



わたしの オススメ ～ 福永病院長編 ～



福永 興彦 病院長

PROFILE 呼吸器内科 医師
専門:呼吸器内科 炎症性肺疾患(喘息・COPD) 睡眠時無呼吸症候群

南部鉄瓶で味わう、ほっとするひととき
同世代の知人に薦められて始めた南部鉄瓶での白湯習慣。忙しい毎日の中で心身を整える大切な時間になっています。

最近の私のちょっとした楽しみは、南部鉄瓶で沸かした白湯を飲むことです。きっかけは、同世代で第一線で活躍し、多忙な日々を送っている知人から南部鉄瓶をいただいたことでした。その方も日頃から白湯を楽しんでおられ、「忙しい毎日だからこそおすすめですよ。」と教えてくださったのが始まりです。仕事柄、私自身も慌ただしい毎日を過ごしていますが、夜のひとときに鉄瓶でお湯を沸かし、白い陶器のカップに白湯を注いでゆっくり飲むと、不思議と



気持ちが落ち着きます。立ち上る湯気を眺めながら温かい白湯を口にすると、自然と肩の力が抜け、その日を振り返ったり、これからのことをゆっくり考えたりする時間になります。忙しい日々の中では、自分をいたわる時間を後回しにしがちです。しかし、ほんの数分でも立ち止まり、自分のための時間を持つことで気持ちは大きく変わります。私にとって南部鉄瓶で白湯を飲む時間は、明日に向けて気持ちを整えるための、ささやかで大切な「心身を整える小さな習慣」となっています。

Keio University Hospital

Topics

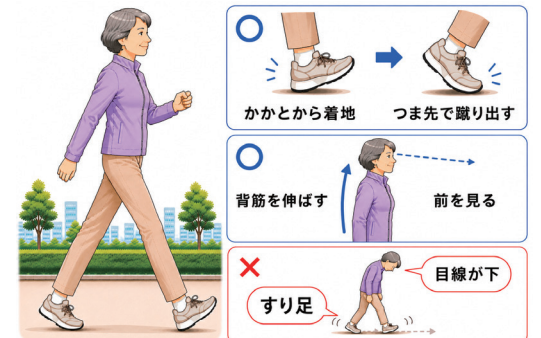
院内での旬な取り組みや患者さんに役立つ情報をお届けします。



01

転ばない歩き方

転倒歴のある方は、1年以内に再転倒や認知症診断リスクが高くなると報告されており、転倒予防は健康寿命を延ばすためにも重要です。まずは、かかとをしっかり固定できる、自分に合った靴を選びましょう。歩く時のポイントは2つあります。1つ目は、すり足にならないよう、**かかとから着地**して、最後は**つま先で蹴り出す**ことを意識しましょう。2つ目は、小刻み歩きにならないよう、**少し前を見る**ように意識し、**背筋を伸ば**しましょう。歩き方を少し意識するだけでも、転倒予防の効果が期待できます。



02

安心してMRI検査を受けるために

MRI検査は強い磁力を利用して行います。アクセサリ等の金属類以外に、**貼付薬、カラーコンタクト、マグネットつけまつげ**等は、検査に影響することがあります。事前に外せるものは外し、気になるものはスタッフへお気軽にご相談ください。



03

きこえに不安のある方に「きこえカード」をさらに使いやすく

きこえに不安のある方に安心して受診していただくための「きこえカード」に、使いやすい横型タイプが新たに加わりました。詳しくは下記にてお尋ねください。

▶ カード発行場所
総合相談窓口(2号館1階)／総合案内(正面玄関付近)



04

災害に備えるための取り組み

当院では毎年、BCPに基づく災害対応訓練を実施しています。2026年度は6月4日に、大地震後を想定し、災害対策本部設置や中等症患者対応エリアの運用訓練を行い、関係職員の対応力向上を図りました。また、予防医療センターでは、4月21日、麻布台ヒルズで行われた総合防災訓練に参加しました。病院全体で防災体制の強化に取り組んでいます。



05

上野賢一郎厚生労働大臣が訪問されました

5月25日、上野賢一郎厚生労働大臣が当院を訪れ、リハビリテーション医療の現場を視察されました。ICU(集中治療室)や病棟のほか、先端技術を用いた運動麻痺治療を行うニューロモデレーションセンターをご覧になりました。視察後には教職員との意見交換が行われ、当院の取り組みとリハビリテーション医療の現状・課題について議論を深めました。



患者サロン

がん患者さん・ご家族を対象に「患者サロン」を開催しています。テーマごとの講義に加え、スタッフ・参加者同士の情報交換を行っています。ハイブリッド（オンライン・会場）開催となっております。皆さまの参加をお待ちしています。



2026年度開催予定

- 第2回 2026年9月12日（土）午前 会場開催
「テーマ:AYA世代の女性のメイクとスキンケア」
- 第3回 2026年10月頃 新宿区内の3病院 合同開催予定
- 第4回 2027年2月頃 「テーマ:仕事と治療の両立」
- 最新情報は病院ウェブサイトをご確認ください。

パーキンソン病教室

パーキンソン病センターでは、パーキンソン病について正しく理解し、日々の療養や生活に役立てていただくため、「パーキンソン病教室」を年度で4回開催しています。医師をはじめ、多職種の専門スタッフが、病気の基礎知識、治療、リハビリテーション、生活上の工夫などをわかりやすくご紹介します。ぜひご参加ください。



2026年度開催予定

- 第3回 2026年10月24日（土）「パーキンソン病の看護・栄養・公的支援」
講師:看護師・管理栄養士・ソーシャルワーカー
対象:当院に通院中の患者さん
- 第4回 2027年1月23日（土）「パーキンソン病のリハビリテーション」
講師:理学療法士・言語聴覚士
対象:当院に通院中の患者さん

詳細や最新情報は、パーキンソン病センターウェブサイト「お知らせ」からご確認ください。

誌面リニューアルに関するお知らせ

病院広報誌「す>め」は、これまで患者さんと病院をつなぐコミュニケーション冊子として親しまれてきました。このたび、より分かりやすく役立つ情報をお届けできるよう、誌面をリニューアルしました。今後も、安心して受診いただくための情報を丁寧にお届けしてまいります。

レストラン・ザ・パークの店舗改修に伴う一時休業のお知らせ

2号館11階レストラン「ザ・パーク」にて、店舗内空調設備等の更新のため、改修工事を実施することとなりました。

これに伴い、以下の期間、店舗を一時休業とさせていただきます。

休業期間:2026年8月4日（火）～2027年2月14日（日）予定

利用者の皆さまには大変ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

2026年度患者調査実施のお知らせ

入院・外来（初診・再診）患者さんを対象とした患者調査を2015年度より毎年実施しています。2026年度は、9月25日（金）～10月31日（土）に予定しています。いただいたご意見を参考に病院運営改善に取り組み、より推奨される病院となるよう努めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

診療担当医表

この二次元コードをスマートフォンなどで読み取っていただくと診療担当医表がご覧になれます。なお病院入り口脇の電子掲示板にも掲載しています。



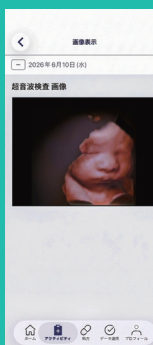
COLUMN

健康管理アプリ「ポータブルカルテ」開始のお知らせ

2026年3月末より、健康管理アプリ「ポータブルカルテ」の運用を開始しました。患者さんの処方履歴やお薬情報、検査結果、超音波検査（産科エコー検査）データなどを、ご自身のスマートフォンで確認・管理できるサービスです。ご利用には患者さんご本人の登録操作が必要です。



詳細は、病院ウェブサイトをご確認ください。



超音波検査（産科エコー検査）データ
画面イメージ（A-合成サンプル）

アンケートにご協力ください



こちらの二次元コードからアンケートにアクセスしていただき、広報誌す>めで読んでみたい記事など、ぜひご意見をお聞かせください。

2026年9月30日（水）までにご回答いただいた方の中から抽選で慶應義塾公式グッズをプレゼント！

受付時間・休診日

外来診療時間 8時40分～12時00分、13時00分～16時00分

休診日

日曜日、第1・3土曜日／国民の祝日・休日（※）／年末年始（12月30日～1月4日）
2026年10月31日（土）、2027年1月30日（土）

※2026年9月23日（水・祝）、11月3日（火・祝）、2027年1月11日（月・祝）、2月11日（木・祝）は外来診療日です。

